

市ケ尾中Times

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

発行者：校長 竹下 恭子
市ケ尾中 Tel 045-973-3400

学校・家庭・地域のつながりを感じた年。ありがとうございました。

令和5年、干支のうさぎのようにあっという間のスピードで過ぎていったように感じます。振り返ると、5月にコロナ感染症が5類に移行したことで、様々な学校行事や地域行事が復活しました。年末恒例の「今年の漢字」は「税」でしたが、市中の皆さんからIOB(市中意見板)に寄せられた漢字は「挑」「新」「勝」「楽」等。今年学校全体で開催することのできた行事から関連できる言葉が印象的でした。また、地域の方々につながる行事にも市中学生が様々な場で活躍しました。夏休み中の町内会お祭りボランティアへの参加、先



月は近隣の小学校で開催された地域防災訓練にも一部の生徒がボランティアとして参加しました。保護者の皆様には様々な今年の教育活動を支えていただき、ご協力いただきました。一人ひとりの子どもたちが、精一杯自身の今の力を発揮できるように、これからも学校とご家庭、地域とのつながりを大切に取り組んでまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

職業講話・課題解決学習 ～1.2年生で実施～

4 質の高い教育を
みんなに



11月24日(金)1.2年生を対象とした職業講話を実施しました。「働く方々の生き方から多様な価値を



学ぶ。課題解決学習から他者や社会との関わりを学び、将来に向けて自分ができていることを考えること」をねらいとして、10月から「働くこと」について色々考え、学んできました。講話当日は、協力いただいた11の企業から講師が来校。すでに企業から出された課題についての解決策をすべてのグループがプレゼンをしたり、講師から助言や講評をいただいたりして、貴重な時間を過ごすことができました。



学びを振り返って、一部のコメントを紹介します。

- ・今日のお話を聞き、世界の環境に関わる仕事や、人の役に立つ仕事をしたいと思いました。(1年)
- ・自分では気づけない新しい見方や価値観を学べま



した。SDGsだからやろうではなく、〇〇したいからやった。それがSDGsにつながった。本当にやりたいことをやらな

- いといいものは作れない、と聞いて本当にそうだと感じました。(2年)
- ・これまで学習したことを活かし、アイデアを出しましたが、その内容を実現するのはとても難しいことなんだと改めて思いました。(1年)
- ・お話を聞いて、失敗を恐れずに答えを自分で探すというところが、大人になると求められることが違うな、と思ったけど、失敗を繰り返して何とか答えを自分で作っていきたいです。(2年)

小中合同あいさつ運動 アンケートを実施します！



12月1日(金)～12月8日(金)今年も小中ブロック3校(荏田西小、東市ヶ尾小、市ヶ尾中)の児童生徒による朝のあいさつ運動を実施しました。12月は横浜市いじめ防止啓発月間でもあります。生活委員の皆さんが中心となり、今年もあいさつ運動をさらにパワーアップさせて声掛けをしました。

そんなあいさつ運動ですが、今年度はこれまでの3校の取組をより発展させていくために、子どもの意見や保護者・地域の方の意見も取り入れた取組を実践することとなりました。すでに生活委員会の皆さんを中心とした小中の児童生徒の会合、学校運営協議会の委員の皆さまとの意見交換を持ちました。具体的取組として、まずは実態把握をするために「あいさつ」についての意見や考えを調査することを目的に、小中学生、そして保護者や地域の方(一部)を対象としたアンケートを実施いたします。保護者の皆さまへも年明けにアンケートのお願いをする予定です。今後の子どもたちの取組に、ぜひご協力をお願いいたします。

生徒の会合、学校運営協議会の委員の皆さまとの意見交換を持ちました。具体的取組として、まずは実態把握をするために「あいさつ」についての意見や考えを調査することを目的に、小中学生、そして保護者や地域の方(一部)を対象としたアンケートを実施いたします。保護者の皆さまへも年明けにアンケートのお願いをする予定です。今後の子どもたちの取組に、ぜひご協力をお願いいたします。

生徒集会開催！～水の課題を考えるクイズ大会～

12月11日(月)体育館にて、生徒会主催の「全校クイズ大会」を開催しました。今回のクイズ大会は、本部役員38期から39期へと代替わりする際の最後の合同企画ということでスタートしました。卒業生37期の先輩から引き継いだ水に関するプロジェクトをやりたい、という案がベースとなり、今年の役員が「形」として実現することができました。全校生徒で取り組めるものにするよう企画を練り、全校〇×クイズにしました。全員が楽しめるよう、「淡水のうち人間が飲み水として使える水の量は？」「トイレを『大』で流す時と『小』で流す時の水の量の差は？」など身近にある水の豆知識をわかりやすく学べる内容でした。コロナ禍以来、全校生徒が久しぶりに体育館に集い、クラスや学年の垣根をこえて交流ができました。生徒会本部役員だけではなく、様々な係の応援もあり、当日の体育館は熱気に包まれていました。



読書の秋！ 学校図書館・図書委員会では様々な活動を行いました

・10月31日 Life with Reading 読書の秘訣カード ワークショップ

はまっこ読書の日の取組としてワークショップを行いました。Life with Readingは読書の秘訣が書かれた27枚のカードを利用したグループワークです。生徒たちは日ごろの読書の悩みや本の選び方、本との向き合い方などについて楽しくおしゃべりするなかで、自分なりの「読書の秘訣」を見つけていきます。昨年度に引き続き参加したい生徒を公募したところ図書委員のほか4名の希望があり一緒に活動しました。



・10月-11月一年国語科「SDGsにつながる本を紹介しよう」

学校図書館の蔵書の中から1冊を選び、本の内容とSDGsの17の目標を結び付けてポップを作って本を紹介する活動を行いました。ユネスコスクールの一員になった一年生が、SDGsの17の目標とじっくり向き合う最初の機会でもあります。読み応えのある本が多かったようですが、過去から引き継いできた社会課題に関心を持ち「未来を変える」視点で様々なことを考え、発信しました。

・「教室が一人になるまで」浅倉秋成著(角川文庫)

夏に行った「保護者の皆様からの図書購入リクエスト」の際にご紹介いただいた本を購入しました。推理作家協会賞と本格ミステリ大賞を同時受賞した、学校ミステリー作品です。ミステリー小説好きの生徒への貸出も順調です。ご協力ありがとうございました。学校図書館では保護者の皆様からのリクエストにもお答えしていきたいと思っております。



■お知らせ■ 12月27日(水)28日(木)および1月4日(木)は学校閉庁日です。日直の先生はおりません。緊急な連絡の場合は、北部学校教育事務所まで(045-944-5978)お願いします。